

プレゼンテーション演習

谷 奈穂(千葉大学)

三大学連携 機関リポジトリ研修会
2014/8/5 お茶の水女子大学

プレゼンテーション演習の流れ

15:30-16:30

- ・グループづくり
- ・事前説明(5分)
- ・プレゼン資料の修正と打合せ(20分)
- ・プレゼン・質疑応答(10分ずつ)

16:30-17:00

- ・プレゼン講評、(研修会全体通しての)質疑応答

プレゼンテーションのシチュエーション

「ある部局の教員会議で、機関リポジトリに登録する学術成果の提供をお願いする時間をいただきました。ご用意いただいた時間は10分間、ただ説明するだけでなく、時間内に先生方の質問も受けられるようにプレゼンテーションを組み立ててください。」

事前説明(プレゼン時の留意点)

- 常に聞き手の立場に立つこと
- 資料に名前、所属、連絡先は書いたか
- 笑顔、目線、声の大きさ、話すスピード、冒頭の自己紹介
- 相手にわかる言葉で説明してあるか
 - 馴染みのない(と思われる)用語に説明があるか
(「リポジトリ」がわかるか？別の言い方はできないか？)
- 何を伝えたいのか、ポイントをしぼる。
 - 図書館が何をしてくれるのか？
 - 私(先生)は何をすればよいのか？得は？面倒なことは？
- その場で回答できない質問を、どうフォローするか